

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	脳外科手術におけるメイフィールド頭蓋固定器のずれの検討
研究責任者	代表;坂倉和樹 分担研究者;てんかん科 藤本礼尚
研究実施体制	脳外科手術時にメイフィールド頭蓋固定器で固定した症例が対象。統計解析およびデータ収集(坂倉、藤本);単一施設、非盲検、後方視
研究期間	IRB 承認日~2020年3月31日
対象者	2009年から当院で脳外科手術時にメイフィールド頭蓋固定器で固定した症例
研究の意義・目的	脳外科手術におけるメイフィールド頭蓋固定器のずれから、その因子を検討する
研究の方法	【方法】術直前と術中もしくは術直後のCTをiPlan (Brainlab)という手術支援画像機器を利用して合成し、頭蓋固定器のピンのずれを検討する。因子については手術記録およびiPlanの情報を使用する。 【選択基準】メイフィールド頭蓋固定器で頭蓋を固定して術直前および術中もしくは術後にCTを撮影した症例 【除外基準】1mm以下のスライス厚でデータが残存しているもの 【予定症例数】27例 【症例数の設定根拠】2009年8月から2019年6月末の症例中上記条件に合うもの
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 坂倉和樹 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00~17:00 平日